

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 5 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人としての基本理念は掲示し職員へ周知しているが、具体的取組まで至っていない。	法人の理念をもとに、より具体的な内容を盛り込んだ、事業所独自の理念の作成をおこなう。理念作成の過程においても職員が参加し、一人一人が考えることで、その後の実際の取り組みをスムーズにできるようにする。	法人理念、地域密着型サービスの理解を深めるために勉強会を行う。職員個人で事業所独自の理念を考える。個人で考えた理念を持ち寄り全体会議の中で一つの理念に集約していく。	3ヶ月
2	2	地域自治会とのつながりが薄く(現状は民生委員の運営推進会議への参加のみ)、利用者と地域のつながりが築けていない。	自治会と施設という組織としてのつながりを築く中で様々な交流を図り、地域の個人と利用者一人一人の人間関係を構築する。	ハード面ソフト面(相談室の開放や防災時の対応など)で地域に還元できる内容の提案。地域行事への参加。施設行事への招待。	12ヶ月
3	4	運営推進会議への家族、地域住民の参加が少なく、様々な意見集約ができていない。	様々な立場から施設運営に対する意見を頂戴し、検討し今後のサービス向上につなげていく。	自治会、ご家族が参加しやすい日程の調整を行う。会議の内容として施設の報告にとどまらず、議題を決め各参加者が発言しやすい会議内容を構築していく。	6ヶ月
4	35	夜間を想定した消防訓練ができていない。	人員に限りがある夜間の体制においても地域の協力を得ることで安全に避難できる体制を作る。	目標2の自治会とのつながりの中で夜間緊急時の対応についての協力を求める。緊急時マニュアルを近隣住民の協力を盛り込んだ形で再作成し、マニュアルに基づいた消防訓練を行う。	12ヶ月
5	10	ご利用者、ご家族からの要望を書面として残せておらず、施設運営への反映ができていない。	ご利用者、ご家族の要望を記録・検討し運営への反映ができる体制を作る。	要望・苦情処理簿の作成をおこない内容を記録する。会議の中で内容の検討を行いサービス内容に反映する。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。